

第 4 回審議会の主なご意見・ご質問

項目	質問・意見
第 1 プラスチックごみの減量・資源化について	○全般に関わるところだが、制度を継続的に分かりやすく、しっかりと訴えていくことが大事。渋谷で生ごみの堆肥化を行っている事例もある。可燃ごみの中のプラスチックを除去すれば色々うまく行くのではないか。(三輪委員) →「徹底したプラスチックごみ分別が必要」「プラスチックごみを可燃ごみに入れないことが大事」という強めの一文を第 1 (の前文) に入れて欲しい。(江尻会長)
	○プラスチックの「3 ポイ捨て防止・海ごみ対策」で、「調布は海から遠いから関係ない」と思っている人がいる。身近な PR が大事。(山本委員)
	○子ども達に海を守るためのごみ拾い活動を見てもらいたい。(杉崎委員) →子どもへの環境教育・情報提供を追記して欲しい。(江尻会長)
	○江東区では、ゲーム形式で 4 人 1 組のごみ拾い競争を行ったりしているのでためしてみてもどうか(森川委員) →スポーツごみ拾いのような形態がある。(江尻会長)
	○コンビニのコーヒー等のカップが捨てられてしまうこともあるので、お店に働きかけては堂か。(森川委員)
第 2 食品ロスの削減について	○「食品ロスの有効利用」は「未利用食品の有効利用」とした方がよい。(江尻会長)
	○可燃ごみからプラスチックを除外し、中長期的には生ごみの堆肥化も必要となるのではないか。(三輪委員) →「第 3 食品ロスの削減について」の前文または「家庭でのリデュース」に生ごみの堆肥化について触れてほしい。(江尻会長)
	○食品ロスの「事業所でのリデュース」の中に、学校給食のことも触れられないか。(津金委員)
	○パルコでは、10 月 18 日にフードドライブを開催する。(千草委員)
第 3 枝・草・葉の資源化について	○枝・草・葉は乾いていればカーボン・ニュートラルの観点からは焼却してエネルギー源になるのでは。「1 新たな資源化方法の導入に向けた検討」(8 ページ) の記述にそのあたりを匂わせても良いのではないか。(増田委員)

項目	質問・意見
第4 古紙類の資源化推進について	○事業系では個人情報保護の問題や財務官経書の書類などあるので、これらの処理の仕方などを事業者向けに冊子を作っただけであればと思う。(阿部委員)
	○現在一括して集めている古紙類について、新聞と雑誌・雑がみを別収集とするなど、収集体制について建議に入れていただきたい。(佐々木委員) →2 古紙類の品質向上のための方策の検討」に収集体制について盛り込んで欲しい(江尻会長)
	○雑がみの分別などは細かいので、子どもの頃からの環境教育に力を入れて欲しい。(佐々木委員) →第5のまとめの部分に環境教育を膨らませて入れて欲しい。(江尻会長)
	○雑がみの分別は難しいので十分なPRを。(津金委員) →現在、プラスチック素材がどんどん紙に代替されつつあるので、紙の分別について強めに記述する。(江尻会長)
全般・その他	○第1～第4の前文の結語の使い方がバラバラなので、統一して欲しい。(江尻会長)
	○SDGsを目指す上でも喫緊の課題なので、一人ひとりの行動が大事であることをどう伝えるか、いかに意識を持っていただくかということを経括に入れたい。(岩本委員)